

【大阪府立大学大学院生命環境科学研究科】

学位授与申請の手引き・記載例

〔A〕学位授与（博士）申請について

● 課程博士

（５－２）・・・（本学学位規程第５条第２項による）博士後期課程および獣医学博士課程に在学しているもので、既に所定の単位を修得した者または学位論文の審査の終了までに修得見込みのある者。

（５－３）・・・（本学学位規程第５条第３項による）博士後期課程に３年（獣医学博士課程は４年）以上在学し、所定の単位を修得して退学した者で、学位論文の審査が退学後１年以内に終了する見込みの者。

● 論文博士

（５－４）・・・（本学学位規程第５条第４項による）博士後期課程を修了しないで学位論文を提出する者。

□ 提出書類は、『学位論文審査実施要領』の申請手続の項、「(提出書類等一覧)」、および、下記の留意事項を参照の上、申請手続きを行ってください。

記

【留意事項等】

- ① 論文目録の参考論文の欄には、本論文の参考となる論文を添付して提出する場合のみ記載してください。
- ② この他にも承諾書などが必要な場合もあります。
- ③ 論文博士は、審査料５７，０００円が必要です。
(平成２８年６月１日現在の状況で、今後改訂される場合があります。)
- ④ 申請受付時間は、午前９時から午後３時までです。
- ⑤ 論文表紙の写しは、論文と申請書・論文目録・申請者紹介・論文要旨（氏名・題目）を統一するため提出願います。

〔B〕学位授与（修士）申請について

□ 『修士』の学位授与申請の申請手続の項を参照に、申請手続きを行ってください。

〔C〕学位授与申請提出書類の記載例について

□ 次ページからの「～記載例～」をご参照ください。

～記載例～

様式第1号その1（第5条第2項の規定による場合）

学位授与申請書

20XX年 月 日

大阪府立大学長 様

大学院生命環境科学研究科

○ ○ ○ ○ 専攻

氏名 澤田 一郎

※すべての提出書類に“澤田”で記入
（“沢田”は不可）

※学位授与申請書に記載された氏名で
学位記が授与されます。

大阪府立大学学位規程第5条第2項の規定により
博士（応用生命科学、緑地環境科学又は獣医学）の学位の
授与を申請します。

注意 ○学位論文の要旨は、4,000字以内とし、別途指定のとおり提出
すること。

学位授与申請書

20XX年 月 日

大阪府立大学長 様

大学院生命環境科学研究科

○ ○ ○ ○ 専攻

氏名 澤田 一郎

※すべての提出書類に“澤田”で記入
（“沢田”は不可）

※学位授与申請書に記載された氏名で
学位記が授与されます。

大阪府立大学学位規程第5条第3項の規定により
博士（応用生命科学、緑地環境科学又は獣医学）の学位の
授与を申請します。

- 注意
1. 学位論文の要旨は、4,000字以内とし、別途指定のとおり提出すること。
 2. 単位修得証明書は、1通提出すること。

学位授与申請書

20XX年 月 日

大阪府立大学長 様

氏 名 澤 田 一 郎

※すべての提出書類に“澤田”で記入
（“沢田”は不可）

※学位授与申請書に記載された氏名で
学位記が授与されます。

大阪府立大学学位規程第5条第4項の規定により
博士（応用生命科学、緑地環境科学又は獣医学）の学位の
授与を申請します。

注意 ○学位論文の要旨は、4,000字以内とし、別途指定のとおり
提出すること。

論文目録

20XX年 月 日

大阪府立大学長 様

氏名

学位論文

1. 題 目 Study of ○○○×××
(○○○×××に関する研究)
2. 公表の方法 論文審査終了後、1年以内に大阪府立大学
及び時期 学術情報リポジトリの利用により公表予定
3. 冊 数 3冊

参考論文

1. 題 目
2. 公表の方法
- 及び時期
3. 冊 数
- } 何も記入しない

- 注 意
1. 学位論文の題目が外国語の場合は、和訳文を付記すること。
 2. 参考論文が2種類以上あるときは、列記すること。
 3. 学位論文が公表されていない場合は、その予定を記載すること。

年	月	日	研 究 歴
20XX	△	◇	_____ 株式会社にて研究に従事
			現在に至る
年	月	日	賞 罰
<p>上記のとおり相違ありません。</p> <p>(仮申請日を記入(論博の場合は申請日))</p> <p>20XX 年○月○日</p> <p style="text-align: right;">氏 名 澤田 一郎</p>			

学位授与申請者紹介

生命環境科学研究科

ふりがな 氏名 生年月日	さわだ いちろう 澤田 一郎 200XX年△△月◇◇日生		性 別	男・女
本籍	(都道府県の み記入)	現住所		
該当規程	本学学位規程第 条第 項による 博士 () 【様式第1号に合わせる】 学位規程第5条第2項～4項のいずれか 博士(応用生命科学/緑地環境科学/獣医学)のいずれか			
論文題目	【論文目録のとおり記入】 <英文タイトルの場合> 英文タイトル(和文タイトル) <和文タイトルの場合> 和文タイトル			
学歴	【履歴書のとおり記入】 20XX年3月31日 大阪府立〇〇高等学校卒 20XX年4月1日 〇〇大学△△学部□□学科入学 20XX年3月31日 同上 卒業 20XX年4月1日 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 博士前期課程応用生命科学専攻入学 20XX年3月31日 同上 修了 20XX年4月1日 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 博士後期課程応用生命科学専攻入学 20XX年3月31日 同上 修了見込み			
職歴	【履歴書のとおり記入】			
備考	発表論文等は別紙のとおり 本論文に関するもの及びその他の論文			

注：発表論文は、別紙に著者名、論文名、掲載誌名および発表年月を年代順に記載するのが望ましい。

【参考－記載例】

(別紙)については一例です。各専攻で異なる部分がありますので詳細については、専攻でご確認ください。

==== ==== ====
(別紙)

<本論文に関する発表論文>

著者名

タイトル

掲載雑誌名 (発表年) 巻, ページ

<その他の論文>

著者名

タイトル

掲載雑誌名 (発表年) 巻, ページ

(例)

Taro Fudai, Hanako Furitsu, and Ichiro Osaka.

J. Life Environ. Sci. (2012) 123, 12345-12355.

(留意事項等)・・・専攻で必ずご確認ください。

- (1) <本論文に関する発表論文>と<その他の論文>に分けて記載するほうがよい。
- (2) 論文が複数のときは現在から順に発表年次を過去にさかのぼり記載するほうがよい。
- (3) 著者名のうち申請者名は太字で一重下線を記すほうがよい。
- (4) 掲載雑誌名は略誌名でも良い。(各専攻でご確認ください。)
- (5) 発表年は西暦で記載するほうがよい。
- (6) ページは最初と最後のページを記載するほうがよい。

※この様式は、共著者の方が記入するものです。必要な場合に提出してください。
様式第5号

承 諾 書

大阪府立大学大学院生命環境科学研究科長 様

著者名(共同者名)	論 文 題 名	書名又は雑誌名(巻・ページ)	発行年月日

上記論文を 申請者氏名 澤田 一郎 氏が学位論文に使用することを承諾します。

20XX年 月 日

氏 名 (自 署) 共著者サイン

(様式1)

(様式3)

大阪府立大学学術情報リポジトリへの博士学位論文登録申請書

20XX年 月 日

大阪府立大学学術情報センター図書館長 様

- 私が大阪府立大学に提出した博士学位論文について、全文を本学の学術情報リポジトリに登録し公表することを申請します。
- 私が大阪府立大学に提出した博士学位論文について、全文に代えて要約を公表することが認められたので、要約を本学の学術情報リポジトリに登録し公表するとともに、博士論文全文(冊子)を本学学術情報センター図書館に保管を委託し閲覧に供することを申請します。

<↑ 該当項目に■をマークする>

フリガナ サワダ イチロウ
博士論文提出者 氏名 (自署) 澤田 一郎

研究指導教員として、上記を了承します。

研究指導教員 氏名 (自署) 府大 太郎

論文題目 (和文)	〇〇〇×××に関する研究 (←欧文で論文を執筆している場合も記入)
論文題目 (欧文)	Study of 〇〇〇 ××× (←和文で論文を執筆している場合も記入)
研究指導教員の所属・職・氏名	生命環境科学研究科××専攻 教授 府大 太郎
その他の連絡事項	
電子データ提出日	20XX年〇月〇日 (この書類の提出の後に電子データを提出する場合)

連絡先

所 属	<課程博士の場合は研究科・専攻を、論文博士の場合は所属を記入>
住 所	<学位授与後に連絡がとれる住所を記入>
電話番号	<学位授与後に連絡がとれる電話番号を記入>
電子メールアドレス	<学位授与後に連絡がとれる電子メールアドレス (.edu 以外) を記入>

*全文に代えて要約を公表することが認められた場合は、

1. 「学位論文全文に代えて要約を公表することの承認通知書 (様式 2)」の写しを添付してください。
2. 学位論文要約、及び全文の電子ファイルを提出してください。なお、公表できない事由が解消して全文公表が可能となった場合は、速やかに学位論文全文をリポジトリで公表し、冊子体の学位論文を廃棄します。

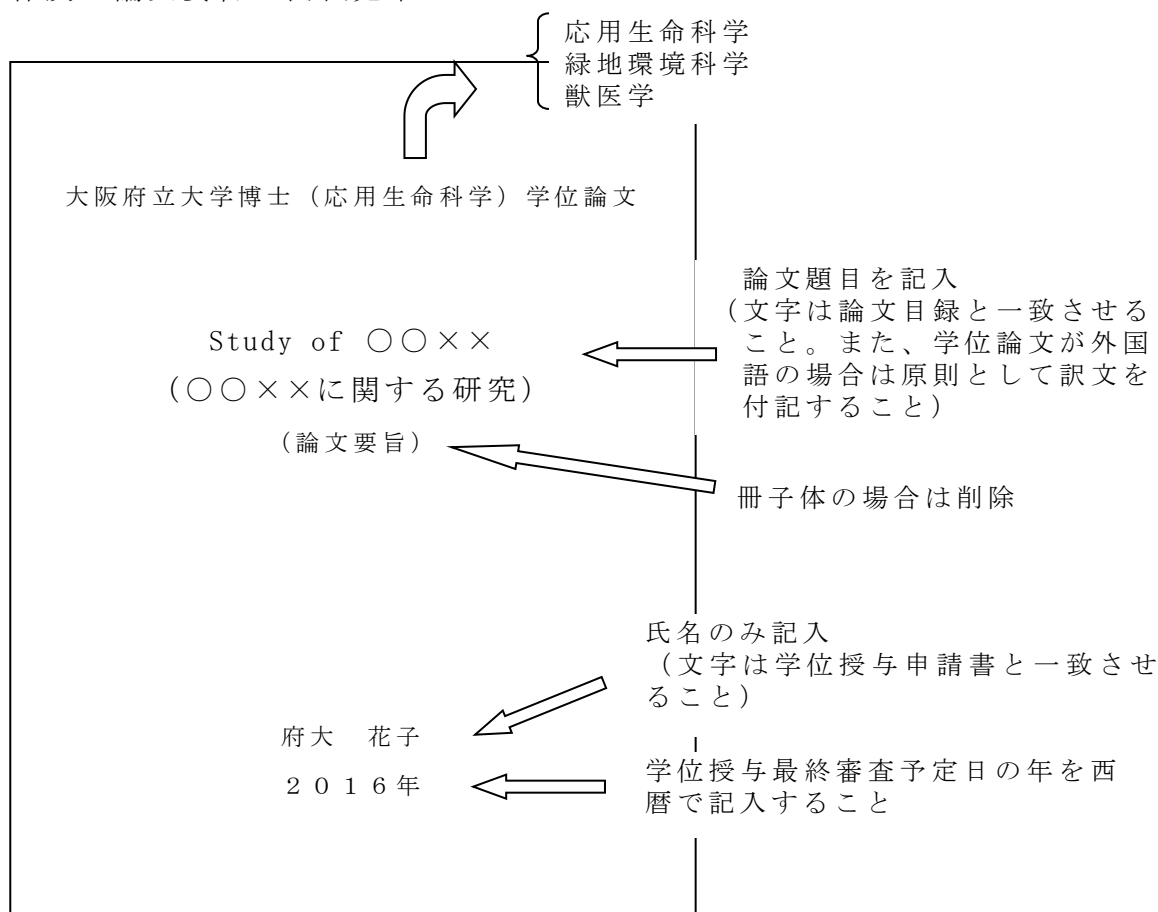
* 電子ファイルは、PDF 化して CD-R 等の媒体にて、教育推進課教務グループ、羽曳野キャンパス事務所又はりんくうキャンパス事務所の各研究科窓口へ提出してください。

* 記載いただいた事項は目的外の用途には使用しません。

* 連絡先については、修了後も連絡が取れる電話番号、電子メールアドレスを記載してください。なお電子メールアドレスには、大学から付与された edu アドレス以外を記入してください。

《 冊子体及び論文要旨の標準的な書式設定 (博士論文用) 》

◎ 冊子体及び論文要旨の表紙見本：



◎ 論文要旨の書式設定

用 紙：A4、本文3ページ以内（表紙を含め4ページ）

（横折でA3用紙1枚の裏表に印刷することが望ましい）

1ページ目（表紙）・・・上記表紙見本参照

2～4ページ目（要旨）・・・指定なし

（博士論文の構成に合わせて章立て等を行い、分かりやすい記載とすることが望ましい）

※論文要旨の最終部分には、学位論文に関する発表論文等一覧は記載しない。

余 白：上＝30 mm，下＝25 mm，左＝25 mm，右＝25 mm

文 字 数：和文の場合4,000字以内，英文の場合1,500語以内

フ ォ ン ト：12ポイントのMS明朝などの明朝体及びTimes New Romanなどのセリフ体

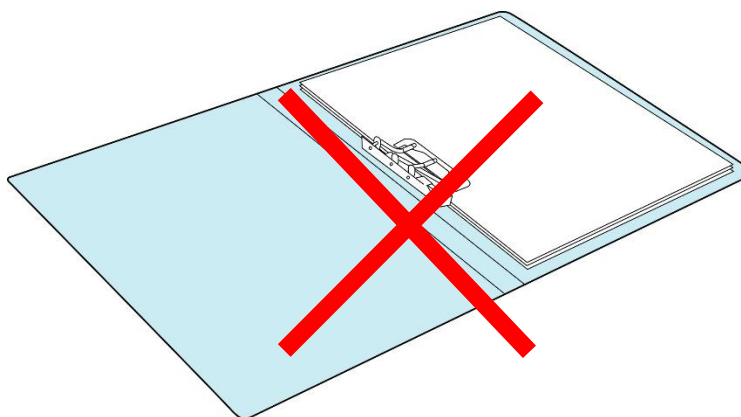
文字数と行数：40文字／行程度，40行／ページ程度の読みやすい設定とすること

◎冊子体の形状

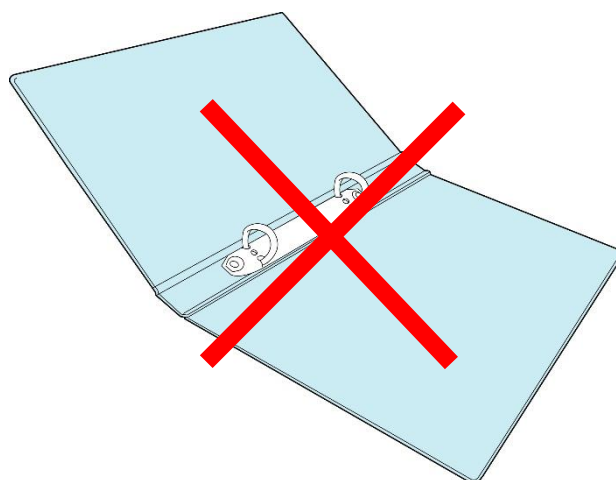
やむを得ない事由により、学位論文全文に代えて要約公表を希望する者は、それが承認された場合（学位授与の審議後、別日に要約公表の是非を審査します）、共閲等により、頁の抜け落ちなどの可能性がない綴じられた形状のものを2部、教育推進課教務グループ生命担当窓口まで提出すること。（本申請時において、頁の抜け落ちなどの可能性がない閉じられた形状で提出している場合は、再提出不要）

（注1） 供閲により、頁の抜け落ちなどの可能性がある形状の例。

* レバーファイル



* リングファイル



《 博士論文審査報告書の様式 》

◎用 紙：A4、2ページ程度

◎様 式：

博 士 論 文 審 査 報 告 書

申 請 者 氏 名

論 文 題 目

20XX年〇月〇日

審 査 委 員

主査	教授	〇〇	〇〇	㊟
副査	教授	〇〇	〇〇	㊟
副査	教授	〇〇	〇〇	㊟
副査	教授	〇〇	〇〇	㊟

(〇〇大学大学院〇〇研究科)

(1 ページ目)

論文題目を記入
(文字は論文目録と一致させること。また、学位論文が外国語の場合は原則として訳文を付記すること)

投票審査の年月日を記入する

本研究科所属以外
の教員を審査委員に加える場合は所属を記載する

論文博士の場合は「最終試験」の代わりに「学力確認」とする

.....、本論文の審査ならびに最終試験の結果と併せて、博士(〇〇)の学位を授与することを適当と認める。